

平成三十年度代議員会開催
まごころの活動方針決する

去る四月二十九日（日）中央支部の代議員会が開催された。支部長の挨拶に続いて来賓挨拶及び紹介があった。鶴田浩一委員（仲町）が議長を務め、平成二十九年度の事業、会計報告、続いて平成三十年度の事業計画並びに予算が事務局提案通りに承認された。

(一)活動資金の確保
○会員会費の募集（七月）
○福祉バザー

(二)高齢者福祉活動の推進
○しあわせサロン散策
（五月二班に分けて実施）
○しあわせサロン会食会
（手打ちそば十二月）

(三)地域福祉活動の推進
○敬老会の支援協力
○支部内高齢者親善交流会
（輪投げ、グラントゴルフ）

(四)三世代交流の推進
○県立友部特別支援学校・福祉ヤ
ンター「たけのこ」の交流支援

支部長 鈴木征夫

日頃から中央支部活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、本年度も四月二十九日の代議員会に始まり、各種の事業が展開されております。七月は会員会費の募集の月になります。皆様方には直接負担をお願いすることになりますが、地域福祉と支部活動向上のためご理解の上ご協力をお願い申し上げます。

おわりに、支部役員一同、一致協力して、支部活動向上のため取り組みますので、よろしくお願い申し上げます。

するために口ポットが菓子作りをして
いるところを見学しました。子供が喜
びそうなお菓子がたくさんありました。
昼食は、那須烏山で、釜飯に舌鼓
を打ちながら楽しく頂きました。そ
して、山あげ会館に行き、「山あげ祭
ミニチュアを見ました。人形の勘助
じいさんが、栃木訛りでおもしろお
かしくお祭りを説明してくれました。
帰りに茂木の道の駅に寄ったとき、
女性の皆さんが満足そうにソフトク
リームを食べていたのが印象に残りま

女性部総会

去る四月二十九日（日）代議員会に続き女性部総会が、開催されました。

新緑の季節、何かと忙しい中、女性部員一二人中多数の出席をいただきました。



三十年度の支部事業への協力として、女性部員の活動は多岐にわたります。毎月、地域の方々に「おいしかったよ」と喜んで頂いている配食は、当番の方々が、献立・買い出し・調理・安否確認も兼ねた配達と大活躍です。

支部内も高齢化が進み、様々な課題が多い中、女性部も研修を積んで対応していかなければと思っております。今年も支部事業に協力し、女性部として、地域の方々に頼られる活動をしてまいりますので、よろしくお願いします。

東国三社めぐり

東町四区 南 秀利

笠間市社会福祉協議会中央支部の役員研修が、六月五日（火）に実施されました。今年の研修は、鹿島神宮・息栖神社・香取神宮の東国三社めぐりでした。江戸時代に、伊勢神宮に参拝すると、その裏参り・みそぎの三社参りが盛んでした。朝八時半に社協会館を出発し、東関東道で鉾田に出、そこから鹿島神宮に向いました。従来の玉造経由よ

りもだいぶ早く神宮に着きました。



鹿島神宮は、常陸国の一宮で『常陸国風土記』に描かれ、その縁起は、千七百年前の崇神天皇に遡ります。祭神は、武甕槌神で武神です。源頼朝や徳川家康をはじめ多くの武将に信仰されました。鎌倉時代に笠間時朝も神宮に参拝し、歌会を催し、また、『唐本一切経』五千五百余巻を奉納しました。現在の社殿は、江戸初期の徳川秀忠の援助で造営され、国の重要文化財です。松尾芭蕉も参拝し、『鹿島紀行』を残しています。

鹿島セントラルホテルで昼食を済ませて、息栖神社に寄りました。息栖は明治のころまで常陸利根川の港で大型船も寄港していました。神社は応神天皇の頃の創建で、現在地には大同二年（八〇七）に移転しました。祭神は岐の神で、東国征伐に向う鹿島・香取両神の道案内をしたといわれます。笠間時朝も参拝して、「かしまかたおきすのりの郭公 船をとめてそ初音ききつる」と詠んでいます。一の鳥居には忍潮井があり、今も男瓶・女瓶に霊泉が湧き出ています。



香取神宮は、下総国一宮で、祭神は、経津主神で武神であり、梶取りの神で水上交通、漁業関係者の信仰を集めていました。黒漆の本殿は荘厳で国重要文化財に指定されています。

東国三社は、古来から信仰され、文化財も多く、とくに荘厳な森は貴重な文化遺産です。鹿島の森の霊気を十分に吸って元気をもらいました。また、三社とも「茅の輪」が設けてあり、これをくぐって災いを払いました。茅の輪は六月の晦日の夏越しの節供に社頭に設置し、厄をはらう行事です。この研修で一年分の厄を落としました。今日は七千五百歩を歩き、いい運動をしました。社協職員の吉成和美さんには事務方をお願いし、また酒井亮運転手には、終始安全運転で楽しい研修ができました。ありがとうございます。



あとがき

季節の進むのが早いもので梅雨期を迎えました。

新年度に入り代議員会・女性総会開催と、新しい事業計画に基づいて実施された「しあわせサロン散策」と「中央支部役員研修」の内容等を掲載しお届けします。

四月・五月での「夏日」が十七日もありました。これから厳しい夏が予想されます。十分な暑さ対策が必要と思われます。

特に、高齢者はこまめに水分補給や休養を充分に取り、暑い夏を乗り切って下さい。

（横堀）

平成30年度 支部委員・福祉推進員名簿				
支部長	鈴木 征夫	(幸 町)	推進員	谷中 収 (当の越1)
副支部長	入江 廣	(大沢中3)	同	黒田 英子 同
同	荒張 晴夫	(緑町3)	同	安達 敬 同
同	井坂フチエ	(青葉町)	同	三澤佐登美 (当の越2)
会 計	福島 和彦	(桜 町)	同	根本佳代子 同
会計監査	高野 康司	(桜 町)	同	苅部 早苗 同
同	荒川 隆夫	(南 町)	同	高松 光子 同
支部委員	内桶 誠史	(東町1)	同	長谷川悦子 同
同	石川 志郎	(東町2)	同	秋山 文江 (友部栄町)
同	渡辺 終吉	(東町3)	同	金澤 寛美 同
同	永盛 正之	(東町4)	同	永堀 昌子 同
同	鶴田 浩一	(仲 町)	同	加藤 文子 同
同	荒川 隆夫	(南 町)	同	細谷 久子 (緑町1)
同	櫻井 正一	(西町1)	同	四ツ倉典雄 同
同	赤尾杉友一	(西町2)	同	高橋 寛 同
同	上野 孝次	(桜 町)	同	谷津 恵子 (緑町2)
同	山浦 紀昭	(当の越1)	同	岩波喜代美 同
同	深井 文宣	(当の越2)	同	吉井 聖子 同
同	川井 正之	(友部栄町)	同	坂本さゆり 同
同	小松崎良夫	(緑町1)	同	富田 秀子 同
同	藤岡 照夫	(緑町2)	同	松原 栄子 (緑町3)
同	松原 敏夫	(緑町3)	同	松田 智行 同
同	梅原 康司	(美原団地)	同	海老原信義 同
同	廣澤 守	(青葉町)	同	松原 秀和 同
同	中村 誠	(大沢中1)	同	中村 淑子 同
同	谷島 和夫	(大沢中2)	同	荒張 晴夫 同
同	入江 廣	(大沢中3)	同	大塚 洋子 (美原団地)
同	藤井吉太郎	(幸 町)	同	掛札久美子 同
推進員	友水 雄一	(東町1)	同	岡村衣里子 同
同	小池 友彦	同	同	平田 秀子 同
同	榎本 和彦	同	同	鶴田 芳郎 (青葉町)
同	橋本 好史	同	同	小池 道子 同
同	山本千代子	同	同	伊藤 一義 同
同	友部 庄一	同	同	吉田 和俊 同
同	青木 重子	(東町2)	同	杉田 健 同
同	友部 敏江	同	同	佐々木智秀 同
同	上原 仁子	同	同	須藤 清 同
同	橋本 桂子	(東町3)	同	鹿崎 誠司 同
同	片亀 一男	同	同	持丸 すい 同
同	国井 貴則	同	同	須藤 和代 同
同	長谷川 稔	同	同	井坂フチエ 同
同	藤枝 正一	(東町4)	同	菊地 操 (大沢中1)
同	黒沢 卓司	同	同	水越 健二 同
同	伊橋 龍介	同	同	高屋まさい 同
同	園部 勝	同	同	中村美千代 同
同	田村 肇	同	同	水越 愛子 同
同	川井 一男	同	同	稲毛 とく 同
同	戸鞠 要吉	同	同	千葉 実 同
同	伊橋 理代	同	同	佐藤 正夫 同
同	荒川 昌之	(仲 町)	同	高村はる江 (大沢中2)
同	村上さよ子	(南 町)	同	佐藤 俊之 同
同	島川 智子	同	同	矢口 征之 同
同	鷺沼三枝子	同	同	寛 和明 同
同	福田 紀子	同	同	原 修治 同
同	櫻井三枝子	(西町1)	同	多川英久雄 同
同	須藤 保男	同	同	岡野 和江 (大沢中3)
同	横倉 きん	(西町2)	同	遠藤 真人 同
同	神崎 昭子	同	同	中澤 まさ 同
同	鶴田 弘司	(桜 町)	同	矢口 勝博 同
同	高安 たみ	同	同	野村 省次 同
同	福島 和彦	同	同	高田 真弓 同
同	菅谷 正子	同	同	鴨志田将義 (幸 町)
同	山口 弘之	同	同	高橋 幸徳 同
同	三次 登	同	同	深谷 清貞 同
同	君島 茂	同	同	堀川 誠一 同
同	高野 康司	同	同	鈴木 征夫 同
同	服部 京子	(当の越1)	同	安田 直紀 同